

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・デザートやパンの売行きが良く、また、中元用に陳列している1,000～1,500円のお菓子をギフトとしてではなく、自分用やお土産として買う客が目立っている。おやつが少しぜいたくになった気がする。
		観光型ホテル（商品企画担当）	販売量の動き	・4月時点の稼働率は、前年比マイナス12%、5月時点はマイナス8%、当月はマイナス6.5%となり、前年比に対してははまだ落ち込んではいないものの、向上きに推移している状況である。
		旅行代理店（代表取締役）	販売量の動き	・本格的な夏場の観光シーズンを迎え予約、問い合わせが増えている。秋の連休の問い合わせも多くなっている。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・5月末から発売している新商品が6月後半のボーナス時期より動き始め、客数、販売量とも向上傾向にある。
	変わらない	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・6月は父の日間際のギフト需要や、催事場での物産展などは例年並みの推移となったものの、衣料品、家庭用品関連の自家需要の動向は依然として低迷している。売上高の前年比は過去3か月とほぼ同じ水準で推移している。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価が前々年辺りからほぼ固定化している。暑くなれば飲料は急激に伸びるが、それはどこも同じである。販売データから見ても、お買得感があればそれを優先するし、無駄使いはせず必要な物だけを購入するパターンは変わらない。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・新機種などの発売による販売数の増加を期待していたが、現状は新機種発売前と変わらない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・3か月前の3月は前年同月比で9割台前半、今月は9割台後半で、前年比減の状況で推移している。6月も沖縄県への入域観光客数は前年同月比で落ち込みが予想される。来園者は修学旅行、一般団体、家族旅行が中心である。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新聞等マスコミ関係では景気の底打ち感があると報道しているが、ゴルフ業界ではまだ表面化していない。まだ不安材料がある。
	やや悪く なっている	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・観光客の減少が目立ち始めてきている。観光施設チケット等の売上が前年割れしており、観光導線店舗で苦戦している。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・持ち直すかとの予想に反し、今月は単価・客単価共に前年比で20%ほど下がっている。
		その他専門店【楽器】（経営者）	販売量の動き	・売上が前年比で20%近く減少している。6月になって土日の週末以外は来客数も大幅に減っている。
		その他専門店【書籍】（店長）	単価の動き	・書籍や雑誌などの値段も徐々に値上がりしており、客の買い控えが目立つようになってきている。1年前からその傾向はあったが、ここ最近が目立ってきた。
悪く なっている		その他飲食【居酒屋】（経営者）	来客数の動き	・6月に入り、突然来客数が減少している。平日では、例年に比べ、1店舗当たり40人以上の減少である。周りの飲食店舗では客が全く入らない日もある。妻子持ちの常連客には、外食費が削られて外出したくてもできない人もいる。逆に低価格帯で食べられる食堂や焼鳥屋、ラーメン屋は出店が増えている。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここにきて、今まで迷っていた客が契約に結びついてきている。
	変わらない	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・コンビニやスーパーマーケットの荷動きが停滞し、卸値の調整で食品関係の卸問屋の競争が激しくなっている。
輸送業（代表者）		受注量や販売量の動き	・一段落していた公共工事の土木関連も、補正予算等で好調を持続しており、建築関連も、学校関係が予想以上に続き、病院等の民間物件も出ている。	

	やや悪くなっている	窯業土石業（経営者）	受注量や販売量の動き	・改正建築基準法の影響で、建築確認許可待ちにより工事が遅れ製品出荷が鈍化している。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・沖縄の安価な人件費をセールスポイントに首都圏で営業しているが、首都圏での人件費が下落している状況で差別化ができなくなっている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内の大企業の求人活動が終了後、中小企業の活動が予想以上に活発になっている様子がある。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数が1、2か月前と比べてさほど減っているわけではない。ただ、大幅な伸びも見られない。
		民間職業紹介所（人材紹介担当）	周辺企業の様子	・悪い状態のまま変わらない。IT企業などは新規案件が例年だと6月以降に入りだすが、今年はまだ見通しが厳しいとの話を聞く。新規案件がない状態だと新たに人材を雇い入れることもできない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・学校に来る求人数が減少しているが、特に県外からの求人は50%以上減少している。県内からの求人も大きく減少しており、雇用環境は依然厳しい状況である。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・5月には過去最悪の有効求人倍率0.27倍を記録している。前年比で0.14ポイント下回っている。
悪くなっている	-	-	-	